

平成 27 年度 前期クラス代表懇談会 まとめ

平成 27 年度前期クラス代表懇談会、並びにそれに先立って行われたアンケートでは、共通教育の授業や学生生活全般に関して様々な意見が寄せられました。その内容は多岐にわたっていますので、個別に回答せず、意見を整理し、それに対して教職員の考え方、意見、アドバイスを述べることにしました。以下は、全学教育推進機構内外のいろいろな部署の教職員の方々の意見を参考にしながら、学部共通教育部門でまとめたものです。文責は宇野にあります。

宇野勝博(全学教育推進機構・学部共通教育部門長)

以下、○印の付いた黒字部分が学生の意見や提案、矢印(→)の付いた青字部分が当方の考え、意見、アドバイス等です。

【A】 共通教育の授業全般について

1. 履修登録の方法や時期について

- 履修登録期間、取り消し期間が短い、あるいは、早すぎる
→授業開始までに履修登録を完了し、概ねのクラスを決定する必要がありますが、入学式、学部別履修指導、健康診断等入学当初の行事が同時期に集中しているため、現状の期間・時期で対応していただくしかないというのが実情です。

- 授業選択をするために必要な情報が少ない
- 時間割の具体例を示して欲しい
- 選択の参考のために過去の授業の様子を見られるようにして欲しい
- シラバスを紙にして欲しい（全員配布ではなくどこかに置く、または、概要を紙で配布し WEB に詳細を掲載するなど）
- 履修登録の仕方がわかりにくい（表の見方や KOAN 操作方法も含む）
→ご意見ありがとうございます。情報発信方法や内容の検討を継続します。履修登録方法については、『履修の手引』やシラバスの記載も参照してもらえよう努めます。

- 定員を増やすなどして、抽選で落ちることがないようにして欲しい
→授業内容に応じて定員が定められているので、定員増加が難しい科目が多くあります。どうか、ご理解お願いいたします。

○KOAN でシラバスのフリーワードでの検索や各科目についての連絡機能など、機能を増やして欲しい

○KOANが使いにくい（特にスマホなどで）

○KOAN で時限ごとに全学の授業を参照できるようにして欲しい

→昨年度、学生・教職員の皆様のご意見をお伺いし、現在次期KOANの策定作業を進めています。スマホへの対応も検討しています。

2. 共通教育の授業(講義、演習、実験のすべてについての内容や授業方法等)の改善についての要望

○授業の名前やシラバスの中身が内容とずれている科目がある

○目的をはっきりして欲しい。

○シラバスを詳しく書いてほしい。

→全学的にシラバスの内容について検討し、改善を進めている状況です。時間がかかるかも知れませんが、徐々に分かり易くなると思います。

○外国語学部だけ履修できない全学教育科目を無くして欲しい。

○選択科目が少ない（特に理系）

○面白くない授業、退屈な授業が多い

○他の授業の状況や入試科目を考慮して欲しい。(数学と物理、物理と化学、講義と実験、文法と会話の関係など)

○第2外国語の選択肢が少ない

→カリキュラムや科目内容については、常に検討しています。しかし、申し訳ありませんが、教員確保の問題などがありすぐに対応できない場合が多いです。

○ 教室、席によっては黒板やモニターが見辛い。

→設備改善については、予算の関係上すぐにはできませんが、徐々に進めています。ご理解ください。

○CLE をもっと使って欲しい。(授業中に配布しない資料、課題を置くなど)

○先生と話せる機会、学生が発言できる機会が少ない

○私語をしている学生を注意して欲しい

→授業担当教員に直接要望を伝えてください。また、授業アンケートを利用して意見を伝えてください。

○授業の内容等をどこで質問・相談できるのか？

→A棟（B棟との境目）2階に「機構ガイダンス室」があり、授業内容、進路などについての相談に応じています。気軽に立ち寄ってください。

平成27年度 全学共通教育科目『履修の手引』P.60 もご参照ください。

総合図書館でも、ラーニング・コモンズとグローバル・コモンズでTAが学習相談に応じています。（理工学図書館・外国学図書館でもTAが学習相談対応しています）

○ 鉄道遅延や教職科目の関係での遅刻や欠席のときの手続きや措置が分からない。

→やむを得ない理由による遅刻に関しては、授業担当教員にその日に相談してください。公共交通機関の遅延の場合、遅延証明を持参するのがよいでしょう。

教職科目の関係での欠席等については、共通教育科目の取り扱いに準じます。後日、欠席を証明する文書等を持参のうえ、教務係の窓口にて欠席届を記入してください。

欠席届に関しては、平成27年度 全学共通教育科目『履修の手引』P.62 もご参照ください。

○中古の教科書を売ったり買ったりするシステムが欲しい

→申し訳ないですが、機構が行う予定はありません。

【B】学生生活

1. 冊子「新入生ハンドブック」について

→申し訳ありません。「新入生ハンドブック」は発行していませんでした。「Campus Life」についての質問だと思って回答された方も多かったのではないかと思います。配布物について十分確認していなかったことをお詫びします。

2. 冊子「阪大生活」について

○「阪大生活がどのようなものかが掴めた」「有益な情報があった」「困ったときに役立つと思う」「面白かった」という肯定的なご意見の他、「学生生活に直結しているとは言い難い」「有益とは思えないインタビューがあった」というご意見や、「見てない」という回答もありました。

→学生の皆さんにとって阪大での生活が有意義になるよう、今後も学生さんの目線で有益な情報や大学生活のヒントをお伝えしたいと思います。なお、

次年度からはウェブ配信で行うことを検討しています。

3. 新入生が大阪大学での学生生活を始める際に、どのような情報や支援があれば、阪大生としての生活に慣れるために役立つか

- 大学周辺の情報（病院、公的機関などの情報、生活経費）
- 生活情報（生協、サークル、バイトの実態、注意事項）
- 手軽なキャンパスマップ
- 先輩とコンタクトを取れ相談できる場、懇談会、交流会など
- 質問・相談窓口（メールでの対応を含む）

→ご意見ありがとうございます。情報については、「阪大生活」など、発信方法を検討します。先輩とのコンタクトの機会については、学部学科等の行事への参加をお願いいたします。

4. 冊子「阪大生のためのアカデミック・ライティング入門」について

→おおむね好評価をもらい、嬉しく思っています。また、内容に関しても、寄せられた意見は次回の冊子作成時に参考にし、よりよい内容になるよう改善する予定です。レポートの見本を掲載してほしいとの意見がありました。この冊子に掲載することは不相当だと考えます。一つ目の理由として、レポートに求められる書式や体裁は学問分野によって異なりますので、統一した雛形を示すことは困難だからです。二つ目の理由として、各科目で高評価となるものが異なり、一般的な優秀例を提示することはできないことがあります。三つ目の理由として、大学での学びは、既存の正解例・優秀例を追い求めるものでなく、みなさん自身が新しい価値を提案していくものだということが挙げられます。課題を出した教員が想定していなかった、驚くような提出物を出すチャレンジをしてください。

5. 授業録画システムについて

- もっと録画される授業を増やしてほしい（とりわけ数学や物理，外国語の授業，授業進度が速い授業，スライドを多用する授業など）・全ての授業を録画することが望ましい

→現在、豊中キャンパスの17教室に講義収録システムが設置されており、動画の収録・配信を希望された先生の講義を収録しています。設置教室を増やすべく努力はしていますが、現在のところ、全ての教室にこのシステムを設置することは難しい状況です。もっと多くの授業を収録してほしいという声はよく聞かれるので、先生方へもその要望を伝える

ようにします。

○掲示がある部屋でも配信されていない講義がある

→ ご意見の通り，システムが設置されている教室には，「講義自動収録システム（EchoSystem）設置教室」という掲示があります。しかし，システム設置教室で開講されている授業でも，個人情報保護や著作権の問題への懸念，準備や管理の手間，授業で取り上げる内容の点等，それぞれの先生方のお考えで収録・配信がされていない場合もありますのでご了承ください。なお，履修している授業が収録・配信されているかについては，各先生へお問い合わせください（学生からの収録希望に直接答えることはできません）。

○ほとんど知られていない

→ 現在も教員や学生向けのハンドブックへの掲載，および全学の教員へのリーフレットの配付，教育学習支援センターのウェブページでの情報提供，教員向けのセミナーの開催等，できるだけ多くの方に活用していただくよう，利用促進活動を実施していますが，今後も多くの媒体を通して学生と教員への周知に努めます。大学での学びを深めるために授業を収録・配信してほしいという希望がありましたら，学生からも収録や配信についての意見や要望を積極的に先生方へ伝えていただければと思います。学生からの声は，先生方にとっても大きな動機づけとなります。

○録画を見る方法がわからない

→ Echo についてのより詳しい情報については，下記をご参照ください。
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ictfored/forstudents/echo360>

○すぐにアップされない

→ 授業期間中は，同時に大量の講義の処理が行われていますので，処理に時間がかかり，多くは翌日の配信となってしまいます。ご了承ください。

○開けないときがある

→ サーバのメンテナンス等で，一時的にアクセスできない場合がまれにあります。

○動画の読み込みが遅い

→ 読み込みが遅い主な原因は、(上記のサーバの障害等を除き) ご利用のインターネットの通信速度です。可能なかぎり高速のネット通信が可能な環境で視聴してください。

○学生参加形式ではないので、どうかと思う

→ 確かに動画を視聴する形式では、対面授業のようにリアルタイムなやりとりをすることはできません。ただ、Echo には、ディスカッションの機能もあり、授業に関する意見や疑問点を書き込むことができますので、授業中に挙手・発言することが難しいと感じる人にとってはむしろ参加の機会が増えるかもしれません。もちろん、学生が主体的に参加することが求められる授業や、授業内での演習が重視される授業の場合は、動画を視聴するだけでは十分な学びは得られません。その場合は、あくまで補助的なツールであるという認識の上で活用してください。

○1.5 倍速再生等の機能が欲しい

→ 教室映像は等倍速でしか視聴できませんが、スライドと音声の再生速度を変える(0.5倍~2倍)ことは可能です。

6. 「学部学生による自主研究奨励事業」について

この事業については、次のような意見がありました。

- 他の学生の研究や実例の紹介があればよい
- 単位に相当するものを与えるのはどうでしょう
- 敷居が高い
- 時間的余裕がない

また、自主的研究に取り組む上でのサポートとしては、「教員との交流の場を増やすなど教員との距離を近くする」「他の学年、学部の学生とのコミュニティー」「教室などを簡単な手続きで使用できること」などが回答にありました。

→ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきたいと思います。

7. 図書館について

- 開館時間をもっと長くして欲しい

→総合図書館では授業期間中の平日を8時から22時まで開館し、試験期間中の平日は24時間開館（グローバル・commonsのみ）していますが、今後も改善に努めます。

○暑すぎる

→経費の問題があり難しいですが、できる限り快適な学習環境の維持に努めます。

○端末数が少ない

→総合図書館ではデスクトップパソコン84台を設置するとともに、ノートパソコン37台を館内貸出用に整備していますが、今後も大阪大学全体の情報教育環境の整備動向に合わせ、充実を図ります。

○自習スペースが足りない

→総合図書館では昨年末にラーニング・commonsを増設し、2階フロア全体を能動的学習のための自習スペースとしていますが、引き続き学習環境の改善に努めます。

○壊れているトイレがある

→ほぼ毎日清掃・点検しており、長期にわたって使用不能なトイレはないはずですが、お気づきの点はカウンターの職員までお伝えください。

8. 生協について

○全食堂でプリペイドカードを使用可能にして欲しい

○営業時間を長くし、日曜日にも開けて欲しい

○安くして欲しい

○席を増やして欲しい

○吹田、箕面の食堂を増やす、営業時間を長くするなどして欲しい

→ご意見ありがとうございます。生協に伝えました。

【C】 その他

○自習できるよう教室を解放して欲しい

→現在、ステューデント・commons周辺に自習等に使えるスペースの拡張を計画中です。

- トイレが少ない
- 豊中総合学館の階段の混雑を何とかして欲しい
- 連絡バスの本数を、混む時間帯だけでも増やして欲しい。また、ルートを再検討して欲しい。
- 阪大坂の自転車乗り入れを可能、または、手押し通行可能にして欲しい
- ロッカーを設置して欲しい
- 休憩時間が短い
- Wi-Fi を使える場所をもう少し増やして欲しい、接続が悪い
 - 毎年出されるご意見ですが、なかなか対応できないのが現状です。改善すべきことは徐々に進めますのでご理解ください。

- 箕面、吹田、豊中間の学生の交流の場が欲しい
- 先輩と交流できるイベントが欲しい
 - 全学教育推進機構としての対応は難しいですが、学内で様々なイベントがあるので情報収集してください。機構のガイダンス室には、先輩のTA(ティーチング・アシスタント)がいます。